

消防団たずね歩き

<分団の紹介>

私達、須磨消防団第1分団が管轄する地域は、板宿商店街という大きな商店街・市場を抱え、北側には板宿八幡神社が鎮座する上野山（じょうやさん）があり、その麓には須磨海岸へとつながる妙法寺川が流れ、山あり川あり繁華街ありのバラエティに富んだ地域です。



この地域は、防災意識が高く、防災福祉コミュニティも、自治会・婦人会と連携して活動され、私達消防団員も消防署員の方々と共に年に数回の訓練に参加し、地域の防災訓練を実施しています。

現在の分団員は12名です。今年は、分団初となる女性団員と大学在学中の団員を迎えました。新メンバーとともに、コロナに負けず皆一丸となって地域の安心安全を守るお手伝いをしっかりやっていきたいと思っています。手前味噌ですが、分団員が皆積極的に活動に参加、協力してくれるので、分団長の私としてはとてもやりやすく、助かっています。

<入団のきっかけ>

私が入団したのは阪神大震災から4年後、災害が多い日本で何か役に立てる事をしたいと思っていた時に、団員だった友人に入団を勧められたからでした。

あれから22年あっという間に過ぎてしまいました。その間、連続放火、暴風雨の中でのパトロールや土砂崩れの現場などに幾度となく出動し、色々経験させてもらい今日に至っています。

<現在の活動>

昨年から続くコロナ禍において、災害出動を除いてほとんど全ての行事が中止となりました。密を避けるため団員も数人単位での活動となるなど、何かすっきりしないストレスの溜まる活動となっています。

本来であれば、春の八幡神社の春祭り（神輿のお渡り）に始まり、山林パトロール、防災福祉コミュニティ主催の防災訓練、夏には夏期訓練や盆踊りの警備、そして年末警戒と、それぞれ節目となる活動があり、年間を通じて充実感があるのですが、コロナ禍のためこれらの活動ができないことが残念です。今できることとして、須磨区と一緒に守ってくれる仲間を求めて、街頭などに立ち、新入団員の募集を積極的に行っているところです。

一日も早くコロナが沈静化することを祈りながら、出来る範囲での訓練、活動を日々続け、コロナ沈静後に備えたいと思っています。



(須磨消防団第1分団 分団長 増田昇弘)